

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509890(P2005-509890A)

【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-015

【出願番号】特願2003-546119(P2003-546119)

【国際特許分類】

G 01 R 23/02 (2006.01)

G 01 R 13/34 (2006.01)

G 01 R 23/16 (2006.01)

G 01 R 29/02 (2006.01)

【F I】

G 01 R 23/02

G 01 R 13/34 C

G 01 R 23/16 A

G 01 R 29/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月22日(2005.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

波形のセグメントを測定する方法であり、

波形を受信し、

波形をゲート処理し、これにより、第1の時間ポイントの以前では実質的に静止し、第1の時間ポイントと第2の時間ポイントとの間では前記波形に実質的に等しく、そして、第2の時間ポイント移行で実質的に静止している、ゲート処理された波形を生成し、そして、

ゲート処理された波形を多数の周波数情報抽出器に提供することを含み、

各周波数情報抽出器は、各周波数情報抽出器における固有の周波数に対し、ゲート処理された波形の振幅または位相内容の少なくとも一つに関する情報を生成し、その結果、そのゲート処理された波形が、多数の周波数情報抽出器から生成された情報で表される、方法。

【請求項2】

第1の時間ポイントは、実質的に波形異常の開始に同期して起き、そして、第2の時間ポイントは、実質的に波形異常の終わりに同期して起きる請求項1記載の方法。

【請求項3】

多数の周波数情報抽出器の各周波数は、第1および第2の時間ポイントの間の時間長に基づき決定される請求項1記載の方法。

【請求項4】

波形をゲート処理することにより波形に導入された歪を識別するための方法であり、

第1の周波数で搬送された波形を受信し、

第2の周波数を有する基準信号を発生し、

受信した波形および基準波形を周波数空間で多重化し、

多重化信号をゲート処理し、それにより、第1の時間ポイント以前で実質的に静止し、第1の時間ポイントと第2の時間ポイントとの間では前記多重化信号に実質的に等しく、そして、第2の時間ポイント以降では実質的に静止しているゲート処理された多重化波形を生じ、

ゲート処理された多重化波形を復調し、それにより、第1の周波数で搬送されるゲート処理された波形およびゲート処理された基準波形を生成し、そして

第1の周波数で搬送されるゲート処理された波形に導入されたゲート処理による歪を、ゲート処理された基準波形に基づき決定することを備える方法。

【請求項5】

第1の周波数上のゲート処理された波形に導入されたゲート処理による歪を修正することを更に備える請求項4記載の方法。

【請求項6】

第1の周波数で搬送されるゲート処理された波形を多数の周波数情報抽出器へ供給することを更に含み、各周波数抽出器は、各周波数情報抽出器における固有の周波数に対し、第1の周波数で搬送されるゲート処理された波形の振幅および位相内容に関する情報を生成し、それにより、第1の周波数で搬送されるゲート処理された波形は、多数の周波数情報抽出器から生成した情報により表される請求項5記載の方法。

【請求項7】

波形のセグメントを測定するためのシステムであり、

波形をゲート処理し、それにより、第1の時間ポイント以前で実質的に静止し、第1の時間ポイントと第2の時間ポイントとの間では前記波形に実質的に等しく、そして第2の時間ポイント以降で静止しているゲート処理された波形を生じるゲート処理回路と、

前記ゲート処理回路に結合される多数の周波数情報抽出器であり、それぞれがゲート処理された波形を入力として受信し、それぞれが、それぞれに対する固有の周波数に対し、ゲート処理された波形の振幅および位相内容に関する情報を生成し、ゲート処理された波形はその結果、多数の周波数情報抽出器から生成された情報によって表される、多数の周波数情報抽出器とを備えるシステム。

【請求項8】

多数の周波数情報抽出器の各周波数は、第1および第2の時間ポイント間の時間長に基づき決定される請求項7記載のシステム。

【請求項9】

多数の周波数情報抽出器の各周波数は、第1および第2の時間ポイント間の時間長の逆数以下の高調波の周波数である請求項7記載のシステム。

【請求項10】

波形異常を測定するためのシステムであり、

波形を受信し、そしてその波形を第1の経路および第2の経路に導くスプリッタと、

第1の経路に結合された遅延エレメントと、

第2の経路に接続され、異常を含む信号が検出されると、測定イネーブル信号を出力する波形異常検出器と、

遅延要素に結合された波形測定デバイスとを備え、

波形測定デバイスは、波形異常検出器で発生された測定イネーブル信号が能動化させ、その結果、遅延エレメントから導かれた波形内に存在する異常の到達と実質的に同時に、測定イネーブル信号が波形測定デバイスに到達するシステム。